

証券コード:6469



独創技術でニーズにお応えする

2018年2月期 第2四半期 決算説明資料

2017年 10月17日

株式
会社 **放電精密** 加工研究所

■ 2018年2月期 第2四半期決算概要

- 2018年2月期のポイント ……P 3
- 2018年2月期 第2四半期決算概要 ……P 4
- 2018年2月期 第2四半期損益計算書 ……P 5
- 2018年2月期 第2四半期変動要因 ……P 6
- 2018年2月期 第2四半期セグメント別概要 ……P 7
 - ・セグメント別詳細:放電加工・表面処理 ……P 8
 - ・セグメント別詳細:金型 ……P 9
 - ・セグメント別詳細:機械装置等 ……P10
- 連結貸借対照表とCFの状況 ……P11
- 2018年2月期 第2四半期 ……P12
 - 設備投資・償却費・研究開発費
- 成田事業所 爆発火災事故の復旧状況と ……P13 ~
業績への影響

■ 2018年2月期通期見通し

- 2018年2月期通期見通し ……P15
- 2018年2月期通期見通し(セグメント)
 - ・セグメント別詳細:放電加工・表面処理 ……P16
 - ・セグメント別詳細:金型 ……P17
 - ・セグメント別詳細:機械装置等 ……P18

■ 中期経営計画2017 ……P19~

■ 前期比増収・減益

- ◇ 航空機エンジン部品事業の低圧タービンプレードが本格量産開始、また金型が順調に推移し、増収
- ◇ 成田爆発火災事故の代替生産による原価高により減益

■ 計画比減収・増益

- ◇ 金型が増収もその他のセグメントで未達の為、全体では減収
- ◇ 計画を上回る代替生産の影響と減収により営業利益で減益
- ◇ 持分法適用会社の投資利益が増加し、経常利益で増益

■ 航空機エンジン部品事業

- ◇ 低圧タービンプレードは、本格量産開始。着実に推移し、黒字化
- ◇ 圧縮機・燃焼器部品の認証取得を完了

■ 成田事業所 爆発火災事故の復旧状況と業績への影響

2018年2月期 第2四半期 決算概要



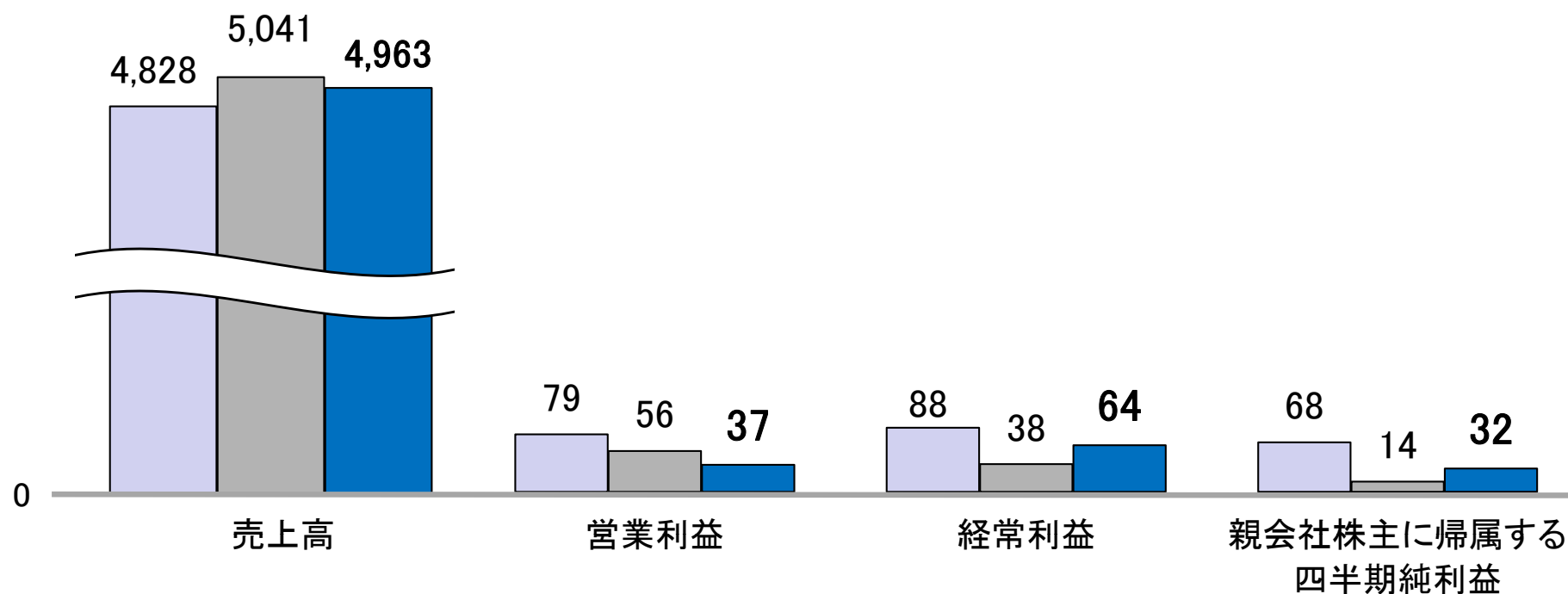
前期比・計画比による決算概要

□ 17年2月期
第2四半期実績

■ 17年4月6日
開示業績計画

■ 18年2月期
第2四半期実績

(単位:百万円)



前年比	135	▲42	▲24	▲36
計画比	▲78	▲19	25	17

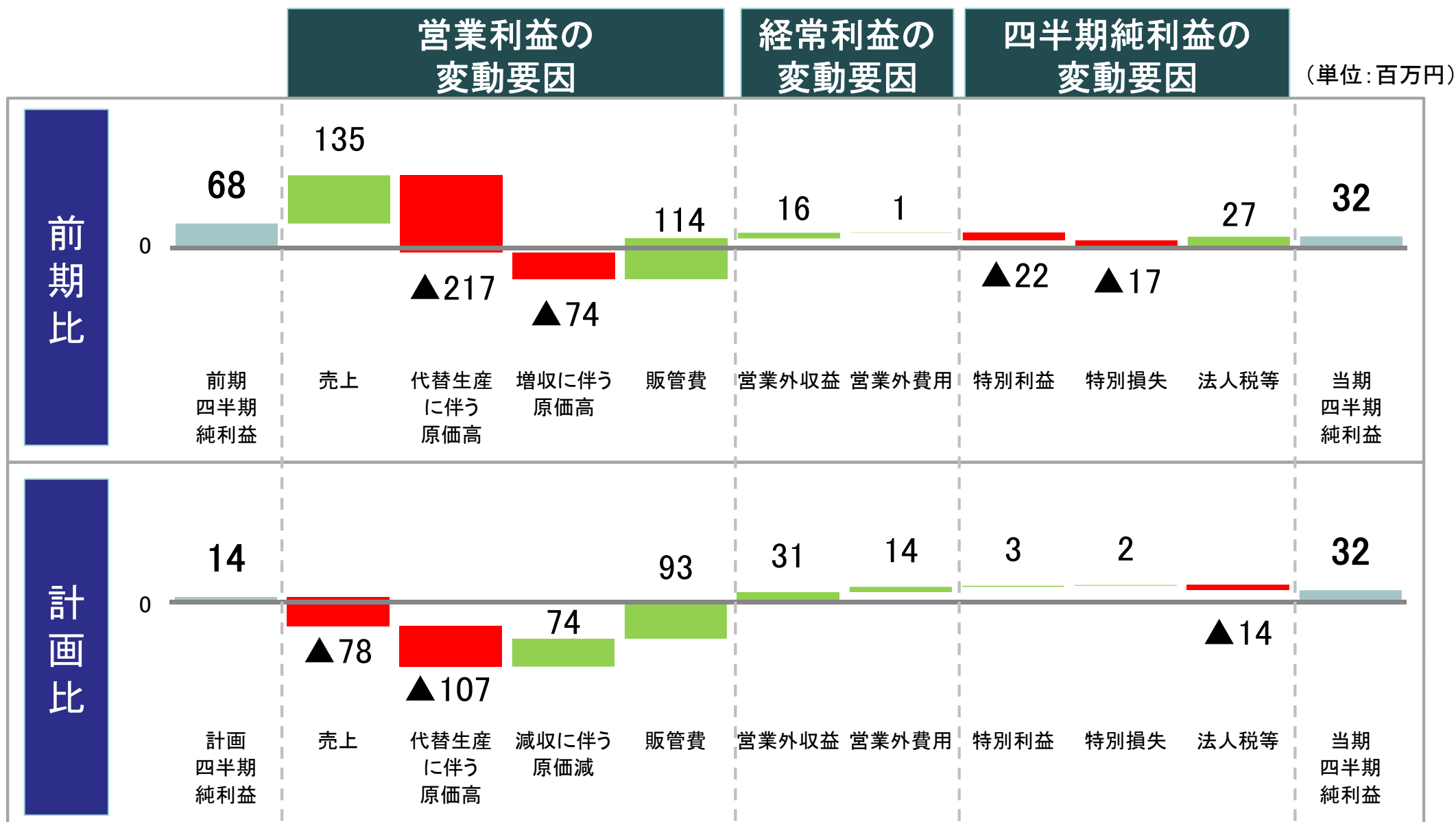
2018年2月期 第2四半期 損益計算書



(単位:百万円、%)

	17年2月期 第2四半期 実績	17年4月6日 開示業績 計画	18年2月期 第2四半期 実績	売上高比率		
				前期	計画	当期
売上高	4,828	5,041	4,963	100.0	100.0	100.0
売上原価	3,692	3,950	3,984	76.5	78.4	80.3
売上総利益	1,135	1,091	978	23.5	21.6	19.7
販管費	1,055	1,034	941	21.9	20.5	19.0
営業利益	79	56	37	1.6	1.1	0.7
営業外収益	36	21	52	0.8	0.4	1.1
営業外費用	27	40	25	0.6	0.8	0.5
経常利益	88	38	64	1.8	0.8	1.3
特別利益	25	-	3	0.5	-	0.1
特別損失	0	20	18	0.0	0.4	0.4
税金等調整前純利益	113	17	49	2.3	0.4	1.0
税金費用	44	2	17	0.9	0.1	0.3
親会社株主に帰属する 四半期純利益	68	14	32	1.4	0.3	0.6

2018年2月期 第2四半期 利益の変動要因



2018年2月期 第2四半期 セグメント別概要



(単位:百万円)

	売上高			営業利益		
	17年2月期 第2四半期 実績	17年4月6日 開示業績 計画	18年2月期 第2四半期 実績	17年2月期 第2四半期 実績	17年4月6日 開示業績 計画	18年2月期 第2四半期 実績
放電加工 表面処理	2,089	2,193	2,147	▲ 19	▲ 65	▲ 162
金 型	1,764	1,856	2,024	499	485	522
機械装置等	974	991	791	129	124	58
全社費用				▲ 530	▲ 487	▲ 382
合 計	4,828	5,041	4,963	79	56	37

セグメント別詳細：放電加工・表面処理

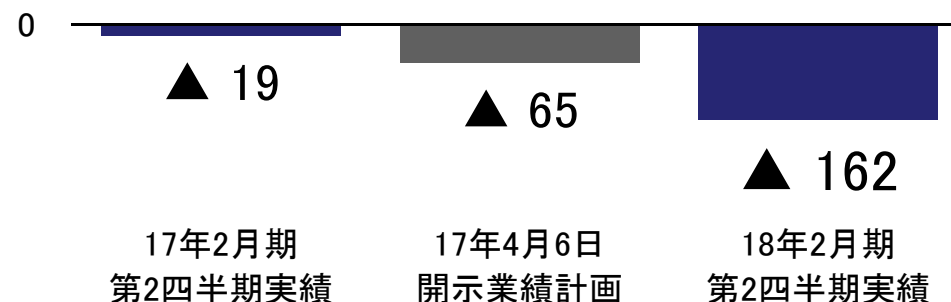
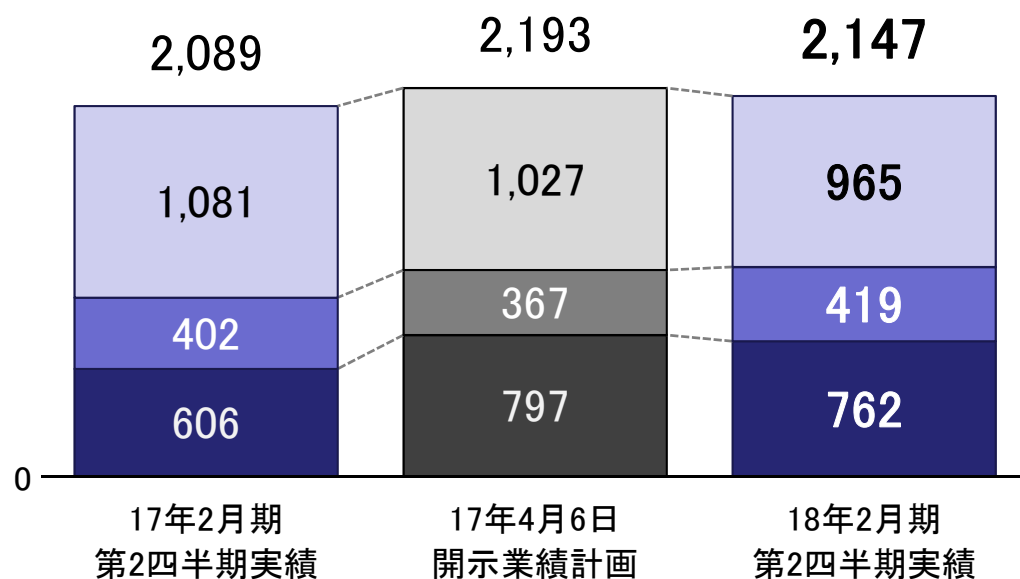


売上高

営業利益

(単位:百万円)

■ 航空・宇宙 ■ 交通・輸送 ■ 環境・エネルギー



市場動向	<p>航空・宇宙： 新型旅客機向けに市場は活発</p> <p>交通・輸送： 自動車関連は国内・海外向けトラックが好調</p> <p>環境・エネルギー： プラント関連は引き続き低調</p>
業績要旨	<p>◇航空・宇宙は低圧タービンブレード本格量産で増収 圧縮機・燃焼器部品は計画比で減収</p> <p>◇交通・輸送は自動車関連部品表面処理で増収</p> <p>◇環境・エネルギーは事故影響で遠心圧縮機関連部品とガスタービン関連部品の減少</p> <p>◇前期比増収も代替生産による原価高の影響で減益</p>

セグメント別詳細：金型

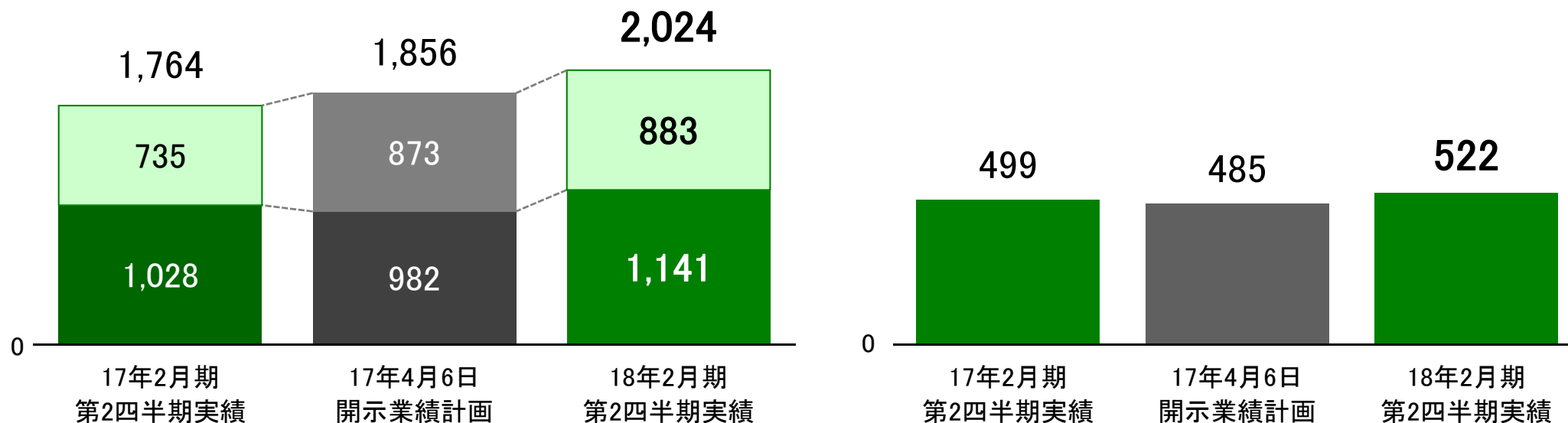


売上高

営業利益

(単位：百万円)

■住宅 ■交通・輸送



市場動向	<p>住宅：住宅着工件数は横ばい</p> <p>交通・輸送：世界各国での排ガス規制の強化により、排ガス浄化用装置の需要は好調</p>
業績要旨	<p>◇住宅関連は、樹脂押出用金型とアルミ押出用金型の産業品向けが増収</p> <p>◇交通・輸送関連は、セラミックスハニカム押出用金型が受注環境良好な為、増収</p> <p>◇増収に伴い、増益</p>

セグメント別詳細：機械装置等

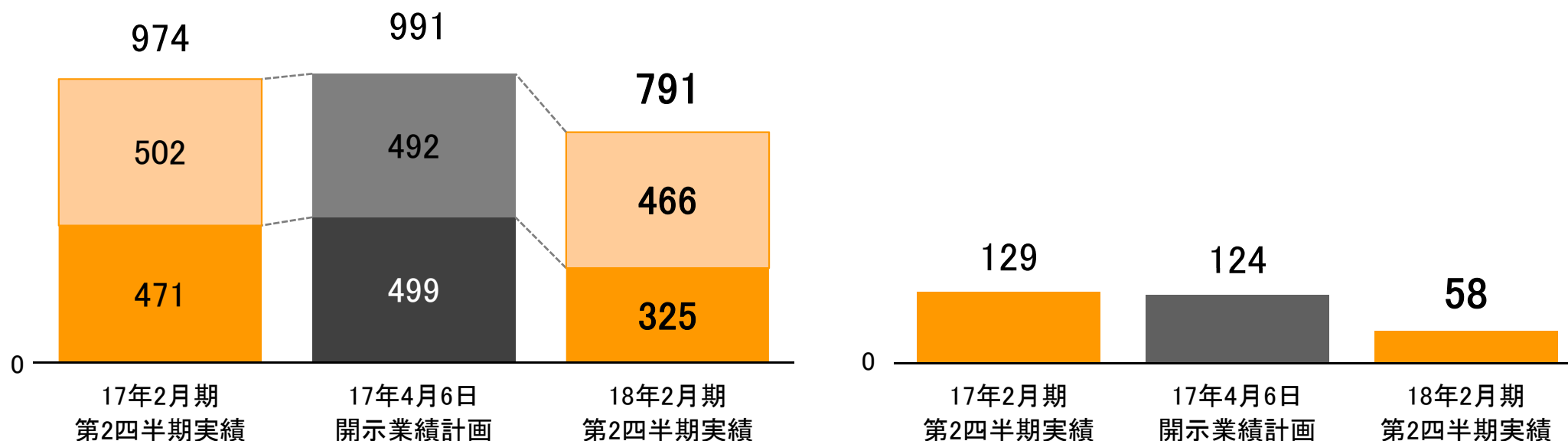


売上高

営業利益

(単位：百万円)

■ 機械設備 ■ 交通・輸送



市場動向	<p>機 械 設 備 : 設備投資は改善傾向</p> <p>交 通 ・ 輸 送 : 自動車関連は堅調</p>
業績要旨	<p>◇機械設備は小型プレス機の販売目標に届かず計画未達</p> <p>◇交通・輸送は量産アイテム主要部品の一部が減産と開発案件でカバーができず計画未達</p> <p>◇減収による減益</p>

対前期末連結貸借対照表

(単位:百万円)



資産の部

負債の部

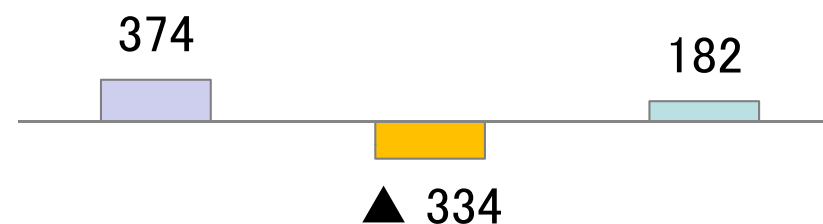
自己資本比率

2018年2月期 第2四半期 : 45.9%
 2017年2月期 : 45.9%

キャッシュ・フロー

(単位:百万円)

	17年2月期 第2四半期 実績	18年2月期 第2四半期 実績
現金及び現金同等物	910	776



営業CF

投資CF

財務CF

設備投資 / 減価償却費

(単位:百万円)

	17年2月期 実績	18年2月期 第2四半期 実績	18年2月期 見通し
設備投資	451	409	1,500
減価償却費	905	428	1,115

2018年2月期 第2四半期 主な投資案件

- ◇ 全社安全対策対応
- ◇ セラミックスハニカム押出用金型増産対応

2018年2月期 今後のその他案件

- ◇ 成田事業所 復興
- ◇ セラミックスハニカム押出用金型 更なる増強
- ◇ 生産能力増強

研究開発費

(単位:百万円)

	17年2月期 実績	18年2月期 第2四半期 実績	18年2月期 見通し
研究開発費	348	33	171

2018年2月期 第2四半期 研究開発案件

- ◇ 炭素繊維(CFRTP)成形技術開発
- ◇ 電解加工生産性向上
- ◇ 完全クロムフリー塗料の機能性向上

2018年2月期 今後のその他案件

- ◇ 低圧タービンブレード生産性向上
- ◇ レーザー溶接技術の検証
- ◇ 金型研削技術の向上

再発防止策

- 事故調査委員会：社外の学識経験者及び専門家の協力を得て、
早急な事故調査と事故原因の究明、再発防止策の提言
- 再発防止策
 - ① 可燃物・着火源を限り無く排除することの徹底
 - ② 生産設備・作業環境の安全対策の徹底
 - ③ 安全教育の徹底

再発防止に向け
全社で徹底実施

安全管理体制の再構築

- 安全体制強化委員会：安全第一活動の推進と事故の再発防止を徹底し、
安全と衛生を最優先した安全管理体制の再構築を推進
 - ① 再発防止策と事故による教訓の共有
 - ② 「安全第一」活動の啓蒙・浸透活動
 - ③ 全社安全衛生活動推進の仕組みづくり
 - ④ 恒久活動への全社仕組みづくり

安全第一の
意識改革と
風土作り

成田事業所 復旧

放電加工棟は、2017年3月より、操業開始

表面処理棟は事故エリアの自動車部品塗装ラインを除いて5月より操業を開始

自動車部品塗装ラインは、安全対策を施した新ラインとして10月中に操業開始(当初9月目標)

2018年2月期上期の影響

●代替生産による原価高

- ・半自動化ラインから2拠点で手作業による人海戦術で対応
- ・当該自動車部品の受注が大幅に増加(前年同期比:125%、計画比:154%)

期初の原価高見込み額 110百万円 → 結果 217百万円(107百万円増)

●特別損失の計上

事故調査・復旧作業・安全対策・固定資産の除却等 18百万円

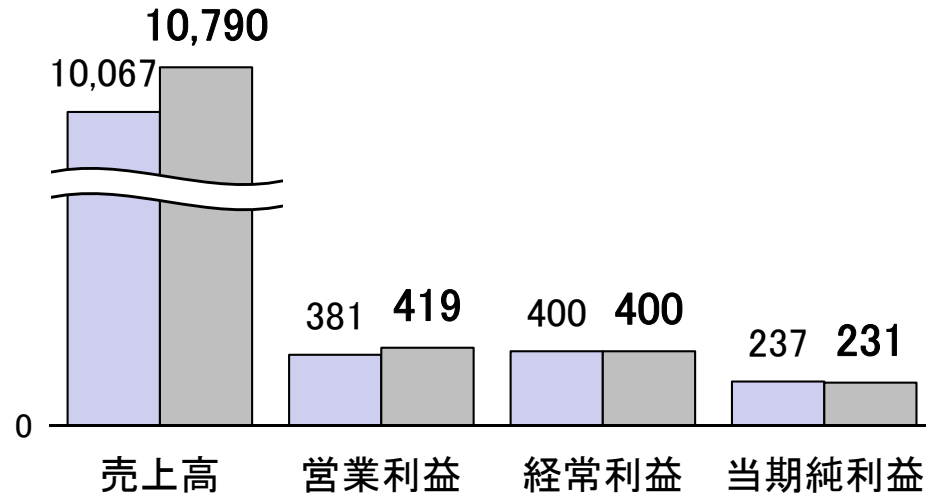
2018年2月期下期の影響

- 代替生産による原価高 新ライン開始までの2ヶ月間 約50百万円

2018年2月期通期見通し

2017年4月6日公表業績目標より変更無し

□ 17年2月期 実績 □ 18年2月期 見通し



(単位:百万円)

	17年2月期 実績	18年2月期 見通し	増減
売上高	10,067	10,790	722
営業利益	381	419	38
経常利益	400	400	0
当期純利益	237	231	▲ 6

	売上高			営業利益		
	17年2月期 実績	17年4月6日 開示業績計画	18年2月期 見通し	17年2月期 実績	17年4月6日 開示業績計画	18年2月期 見通し
放電加工・表面処理	4,345	4,742	4,740	86	59	▲ 115
金型	3,702	3,754	4,004	1,046	975	1,051
機械装置等	2,020	2,293	2,046	302	359	304
全社費用	 	 	 	▲ 1,053	▲ 973	▲ 821
合計	10,067	10,790	10,790	381	419	419

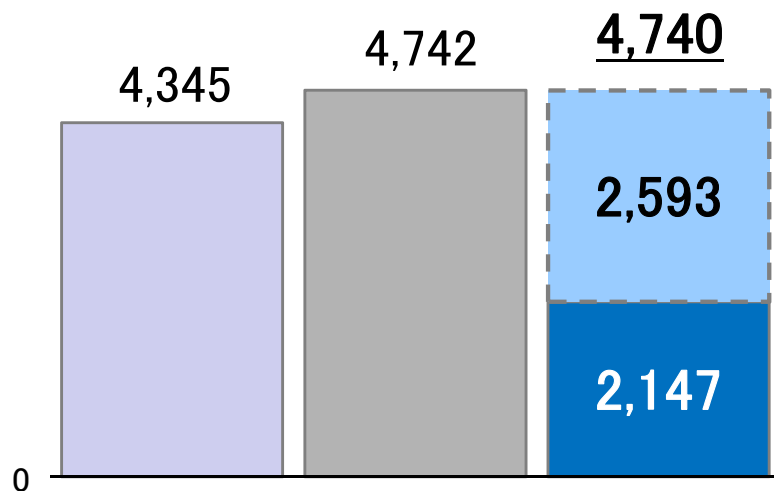
セグメント別詳細：放電加工・表面処理



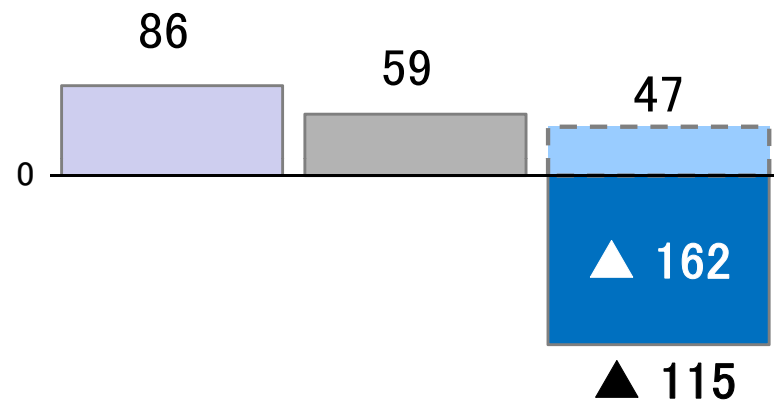
17年4月6日 開示業績計画
 2018年2月期 下期見通し
 2017年2月期 通期実績
 2018年2月期 上期実績

(単位:百万円)

売上高



営業利益



通期見通し (計画比 減収・減益)

売上高 : 4,742 ⇒ 4,740 (▲ 2)

営業利益 : 59 ⇒ ▲115 (▲174)

売上高下期予想

- (↑)航空機エンジン部品事業
 低圧タービンブレード : 生産計画どおり推移
 圧縮機・燃焼器部品 : 本格生産開始
- (↓)航空宇宙部品の単一工程受託加工
 主要アイテムの減少
- (↑)ガスタービン関連部品
 顧客生産体制の再構築

営業利益下期予想

- (↑)成田事業所の復旧
 10月までで代替生産が終了
- (↑)ガスタービン関連部品
 増収によるもの

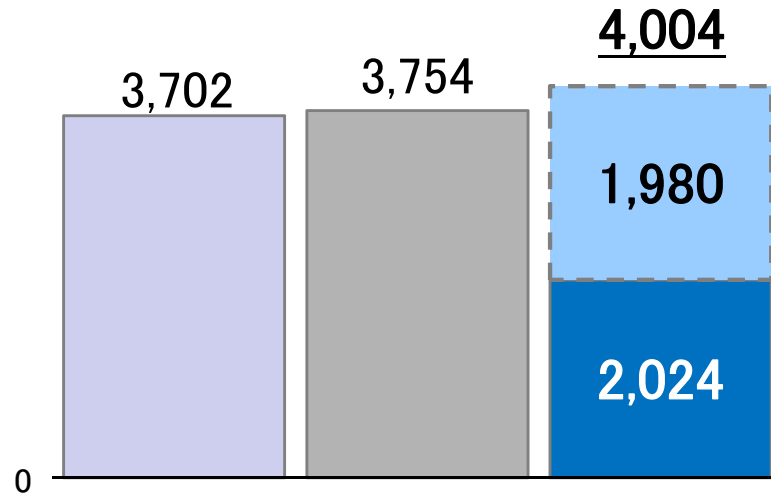
セグメント別詳細：金型



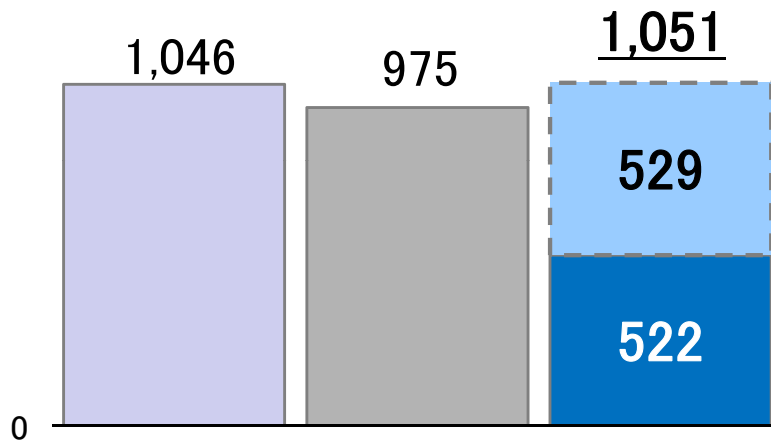
17年4月6日 開示業績計画
 2018年2月期 下期見通し
 2017年2月期 通期実績
 2018年2月期 上期実績

(単位:百万円)

売上高



営業利益



通期見通し (計画比 増収・増益)

売上高：3,754 ⇒ 4,004 (250)

営業利益：975 ⇒ 1,051 (76)

売上高下期予想

□(-)アルミ押出用金型

住宅向け、産業品向けともに堅調

□(↓)樹脂押出用金型

新型モデルへのシフトも一段落

□(↑)セラミックスハニカム押出用金型

排ガス規制の強化により需要増

営業利益下期予想

□(↑)セラミックスハニカム押出用金型

増収によるもの

セグメント別詳細：機械装置等



17年4月6日 開示業績計画
 2018年2月期 下期見通し
 2017年2月期 通期実績
 2018年2月期 上期実績

(単位:百万円)

通期見通し (計画比 減収・減益)

売上高：2,293 ⇒ 2,046 (▲246)

営業利益：359 ⇒ 304 (▲55)

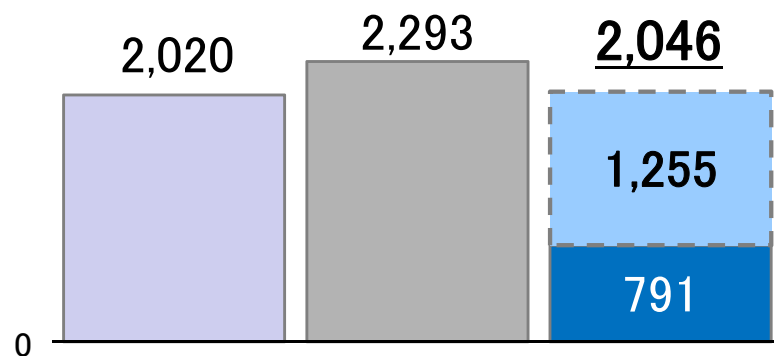
売上高下期予想

- (↓)受託加工
自動車向け量産部品の減産影響
- (↑)機械販売
納入数増加

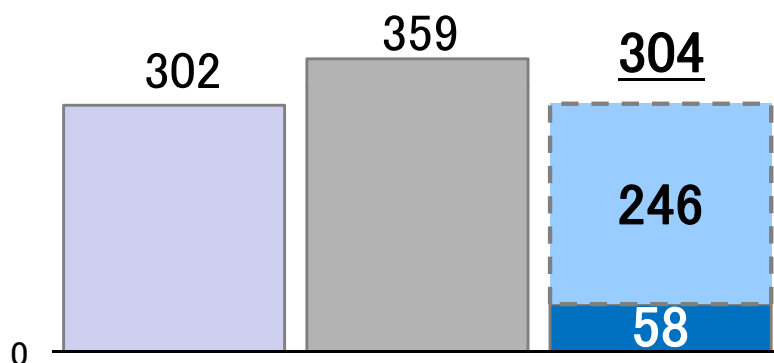
営業利益下期予想

- (↑)増収によるもの

売上高



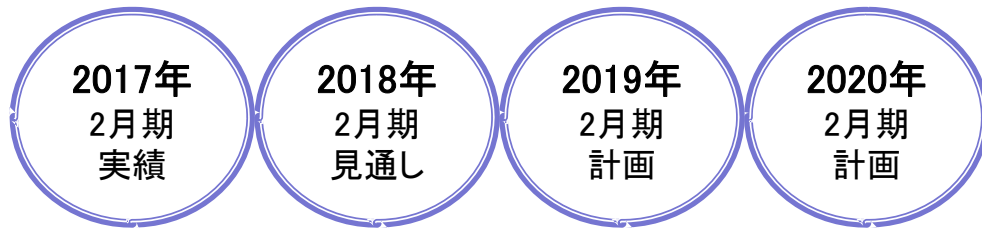
営業利益



中期経営計画2017

中期経営計画2017

成長ステージへ向けて着実に進捗



重点施策

安全第一への意識改革と風土作り

既存事業をより強化

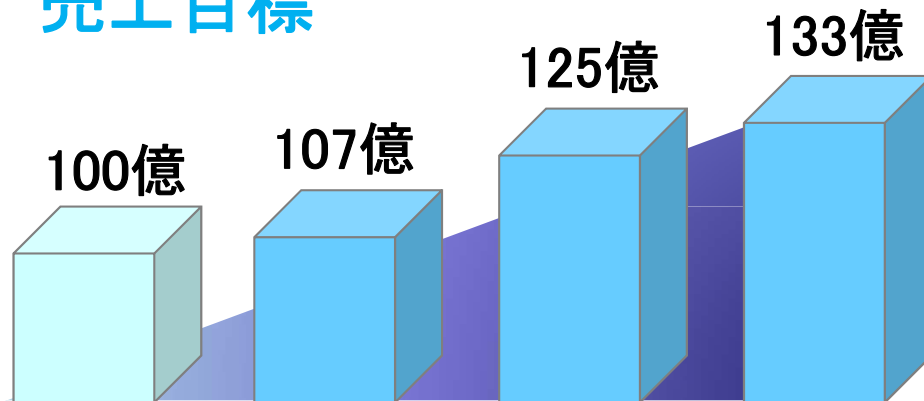
航空機エンジン部品事業の拡大

新規事業・新規アイテムの開拓

技術・技能伝承と人材定着と育成充実

ガバナンスの強化

売上目標

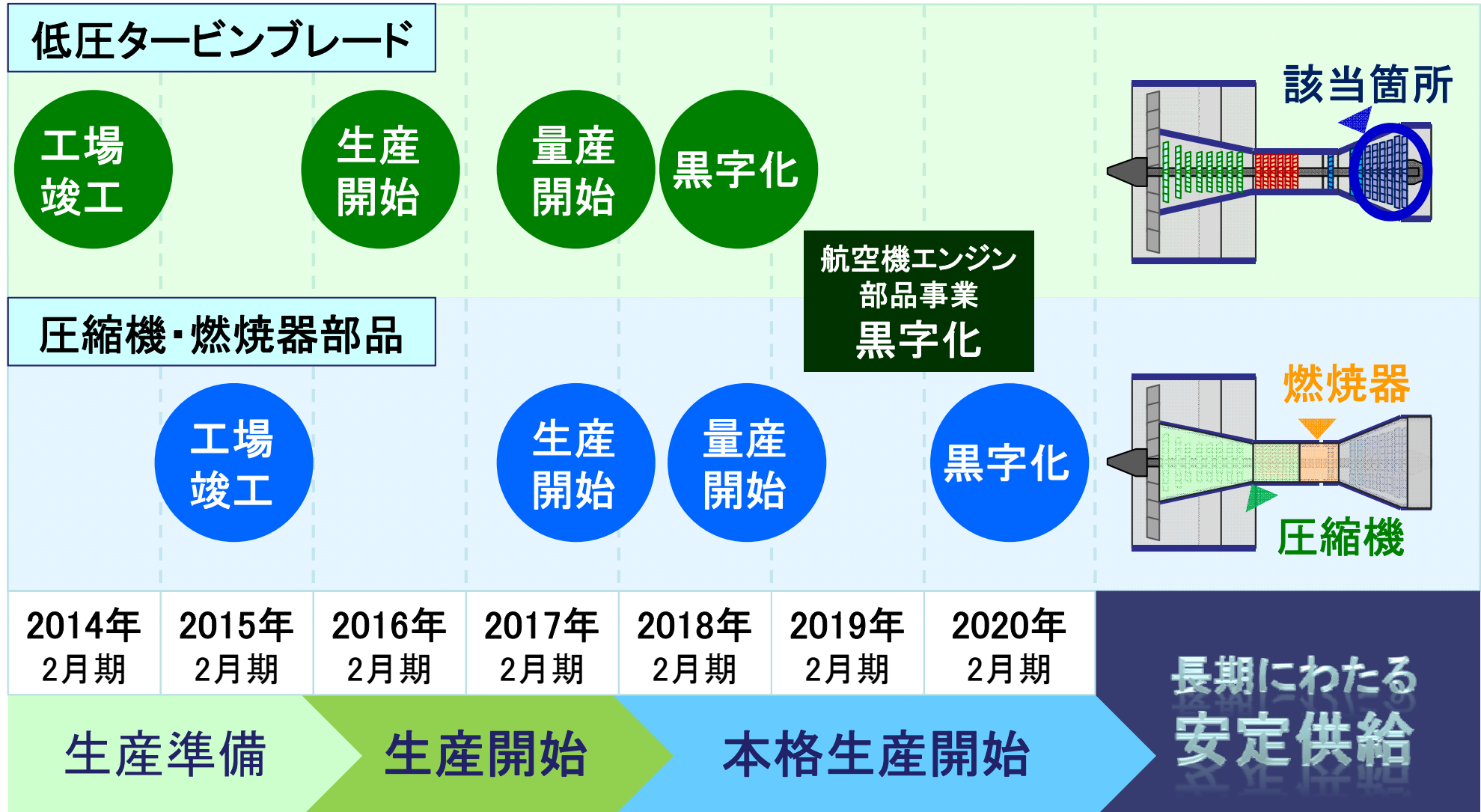


営業利益目標



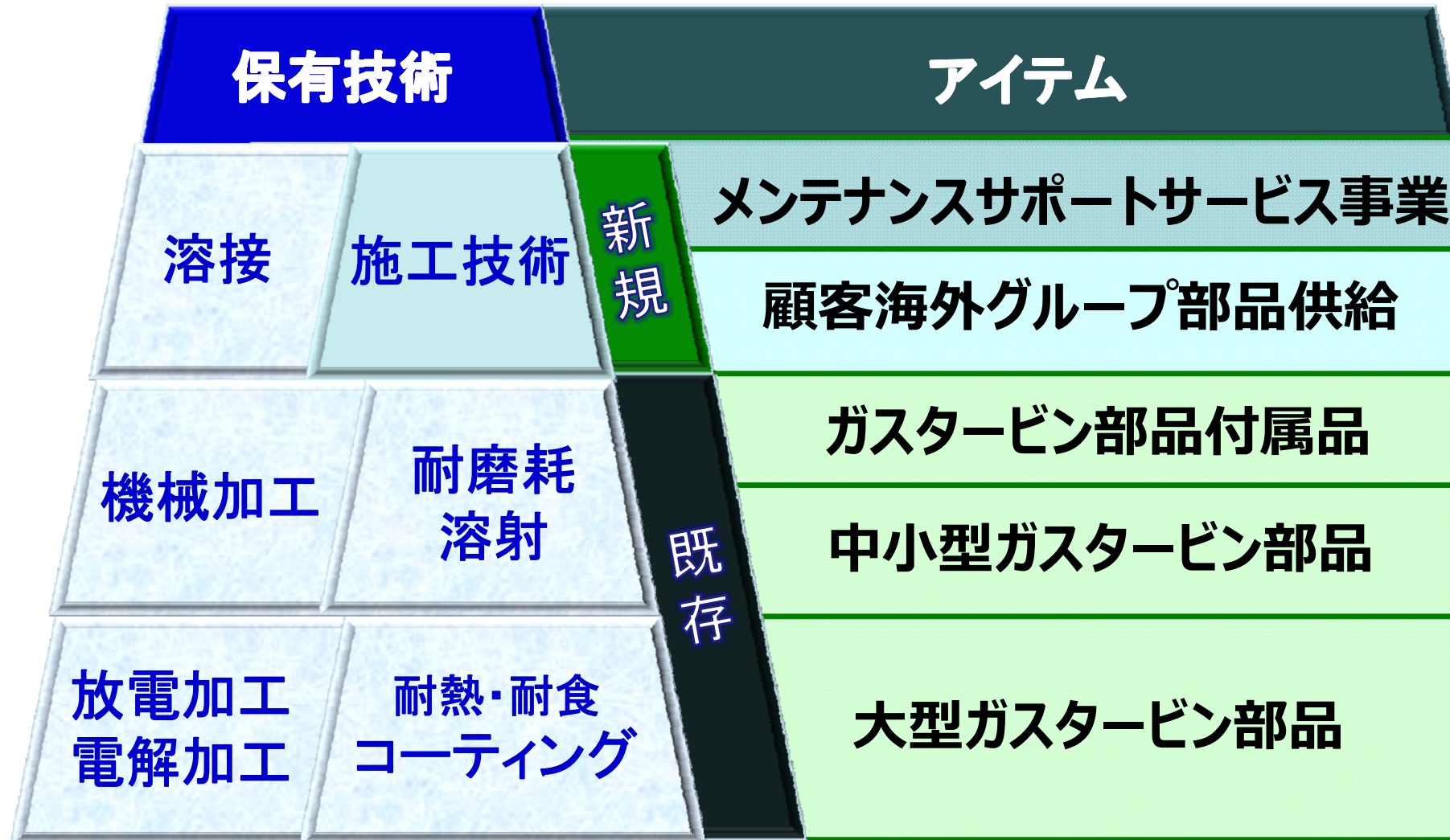
航空機エンジン部品事業の拡大

航空機エンジン部品事業の拡大は今期計画通り進捗中



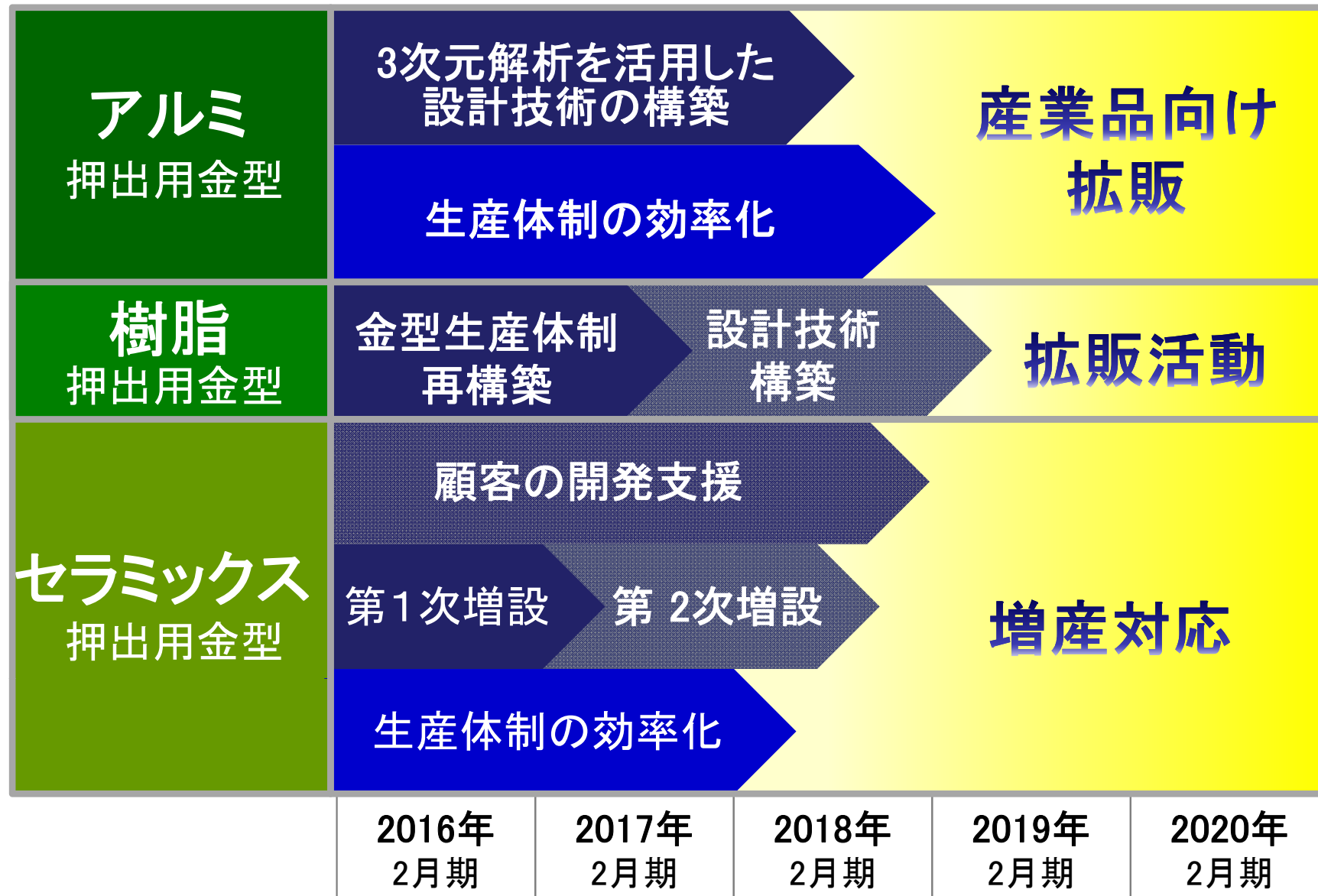
既存事業をより強化①

ガスタービン関連部品の新たなビジネスモデルの構築



既存事業をより強化②

金型はシェア拡大の為の生産体制強化を推進中



既存事業をより強化③

機械装置等はマルチマテリアル化を視野に入れた市場開拓加速

**金属
プレス加工
業界**

既存市場



金属セパレータ



角度センサ



2段サイクロイドギヤ



バッテリー用
電流検出センサ



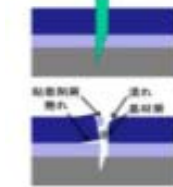
シリコンウエハー
切断機封止蓋

**金属と新素材の複合
成形技術の開発加速**

**高機能
フィルム
業界**

新市場

従来技術



当社技術



切断刃物メーカーとの
フィルム加工市場開拓

**炭素繊維
業界**

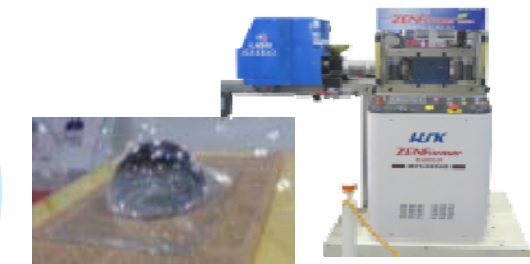
新市場



材料メーカー・設備メーカー・
商社とアライアンス展開

**高機能
樹脂
業界**

新市場



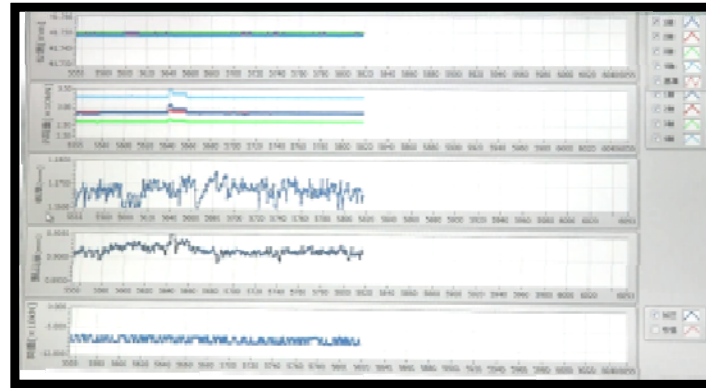
射出成形機メーカーとの
射出成形市場への展開

新規事業・新規アイテムの開拓

IoT技術を駆使した高精度加工の成形維持環境を実現

- 材料板厚の変化
- 金型温度の変化
- パンチ荷重測定
- 製品板厚の変化
- 下死点条件変更
- リアルタイム監視

Viewer(プラットフォーム)



直動式デジタルサーボプレス



プレス機械データと金型データの融合

独創技術でニーズにお応えする

HJK 株式会社 **放電精密** 加工研究所

本資料に記載された目標や予測等、将来に関する記載が記述があります。
資料作成時点での当社の判断に基づき作成したものであり、その情報の正確性を保証するものではありません。
また、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績や結果とは異なる場合があります。